

Wakayama Medical University

令和5年



和歌山県立医科大学

医学部案内





本学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

3つのポリシー

■アドミッションポリシー（入学者受入方針）

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1. 科学的探究心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人
医学を志す人には、旺盛な科学的探究心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。
2. 医学を修得するための幅広い能力を有する人
医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。そのため、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。
3. コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人
医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者・医師関係が築ける能力）が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。
4. 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人
本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

■カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

和歌山県立医科大学医学部は以下の教育を通じて真のプロフェッショナリズムを育成します。

1. 社会人として必要な教養とともに医師として必要な倫理観、弱い立場の人々と真摯に向きあえる共感的態度やコミュニケーション能力、ケアマインドが育成できるよう、早期体験や医療福祉施設での参加型実習や患者および家族と直接触れ合う教育
2. 医学に必要な自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識が獲得できる教育
3. 基礎医学において、生体の構造と機能、病態との関連、疾患の概念が理解でき、問題解決型能力が獲得できるとともに研究マインドが育成できる教育
4. 臨床医学において、基礎医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診断、治療方法が理解できるとともに、汎用的技能を習得できる教育
5. 臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の臨床参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力が獲得できる教育
6. 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得できる教育

■ディプロマポリシー（学位授与方針）

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に医学士の学位を授与します。

1. 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
2. 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
3. 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
4. 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの



大いなる未来へ、世界へ！ 和歌山の地からチャレンジ！



和歌山県立医科大学 学長
宮下 和久

和歌山県立医科大学医学部を目指すみなさんへ！心から歓迎のエールを送ります。

本学は、昭和20年に和歌山県立医学専門学校として設立され、以来70余年の歴史の中で、優れた医療人の育成、先端医学研究の展開、高度・先進医療さらには地域医療の実践などを通じてたゆまない発展を続けています。

平成10年には大学本部、医学部、附属病院を紀三井寺キャンパスへ移転し、三葛キャンパスに保健看護学部、大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科を設置、さらには医学部定員を100名に増員、高度医療人育成センター、地域医療支援センターを設置、附属病院東棟を増築するなど、大学として大きく発展を遂げてきました。さらに昨年4月には伏虎キャンパスに薬学部(6年制定員100名)を開設し、医・薬・看の3学部を擁する医療系総合大学として新たなスタートを切りました。

医療の多様化・複合化や高齢化の急速な進展、健康に対する社会的ニーズの高まりの中にあつて、医療社会情勢の変化に対応できる高度で専門的かつ総合的な医療人を育成します。

カリキュラムポリシーに則り、3学部相互の多職種連携教育、ケアマインド教育及び早期からの参加型実習を通して、社会人として必要な教養を涵養し、医療人として必要な倫理観、共感的態度、コミュニケーション能力及びケアマインドを育成します。アウトカム基盤型教育を通し、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を備え、地域医療と国際社会に貢献できる人材を育成します。特色として、教養教育の3学部一体的展開、3年次の基礎配属を1年間通して実施すること、基礎医学と臨床医学との縦断的統合授業を行うことなど医学教育の活性化を図ります。また、大学院準備課程(M.D-Ph.Dコース)を設け、学生時から大学院を目指す研究徒を積極的に支援します。

本学附属病院は、特定機能病院に指定され、最先端の医療を提供する傍ら、高度な臨床医学教育の場として機能しています。特徴として、国公立大学では初のドクターヘリを導入し、高度救命救急センターは、全国トップクラスの機能評価を受けています。また、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」の複数整備、がんゲノム医療連携病院に指定されるなど、高度な治療体制が整備されています。さらに、中央部門に「膵がんセンター」と「脳卒中センター」を設置し、「膵がんドック」による膵がんの早期診断・早期治療や「脳卒中センター」における高度な外科治療からリハビリテーションに至る脳卒中医療の充実を図っています。その他、総合周産期母子医療センターやへき地診療所と当院を結ぶ遠隔外来システム、遠隔救急支援システム等専門施設が網羅的に整備され、豊かな医療環境を生かしながら高度かつ専門的教育を実践します。

医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した教育を基本としながら、質の高い医療人を養成するための独自のカリキュラムを実践します。本学は、平成30年3月、日本医学教育評価機構から「医学教育分野別評価」に適合する評価を受け、国際基準を満たす教育を実践しています。本県における未来の地域医療を担う意欲・使命感をもった医療人を育成するとともに国際社会で活躍できる優れた医療人を育成します。

「地域とともに世界に羽ばたく大学!」をスローガンに掲げ、卒前から卒業まで一貫した教育理念に基づき、入学時から卒業研修までシームレスな教育、キャリア形成を実践します。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、従来型の教育体制の見直しを余儀なくされました。この経験を生かすべく、ウイズコロナ時代に対応した、遠隔講義システムをはじめ、VR・ARを活用した体験型教育手法の導入など、来るべきICT時代にふさわしい教育環境、教育システムを構築して参ります。

医療の未来、本学の未来は君たち若人の手の中にあります。今まさに本学は、医療系総合大学として君たち若人ともに大きく羽ばたこうとしています。医師、医学研究者を目指す諸君よ、本学は、若い力を夢を存分に実現できる環境を整えて情熱あふれる若人を歓迎します。諸君とともに教育、研究、医療の分野でのオンリーワンの大学をこの和歌山から創っていきましょうではありませんか。大いなる未来へ、世界へ!和歌山の地からチャレンジ!

そんな情熱あふれる若人を待っています。

1ページ——理念・3つのポリシー

2ページ——学長あいさつ

3ページ——医学部長あいさつ

4ページ——医学部の教育目標・沿革

5～11ページ——教育内容

12ページ——課外活動

13ページ——年間スケジュール

14ページ——入学金・授業料・奨学金など

15ページ——国際交流・入試結果

16ページ——学生募集要項

17～18ページ——キャンパスマップ



和歌山県立医科大学 医学部長

伊東 秀文

本学で医師を志す皆さんに期待を込めて

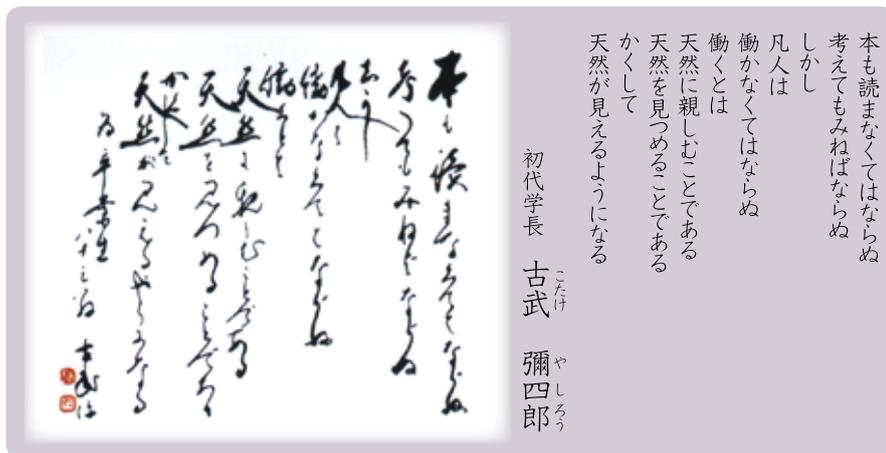
病によって深い苦しみの中におられる方々に手を差し伸べ、疾患の克服と苦痛の緩和に全力を尽くして懸命に取り組む医師を育成することこそが、私たち和歌山県立医科大学医学部の使命です。創立以来 75 年以上にわたり、本学は多数の優れた医師・研究者を輩出し、人々の健康と医学の発展に貢献してきました。

この間にも医学は飛躍的に進歩し、以前はまったく分からなかった病気の原因や病態が次々と明らかになり、分子レベルでの治療も可能となってきました。しかし一方で、原因がいまだにわからず、治療のすべがまったくない病気も数多く存在しています。このような患者さんに対して現在の医学は無力ですが、それでも私たちはその苦痛を少しでも和らげるため、多職種のメディカルスタッフと力を合わせ、医療と看護を通じて誠心誠意患者さんと向き合わねばなりません。

これらのことから、医学部 6 年間で身につけなければならないことがいくつかあることがわかります。まず、患者さんを正確に診断し適切に治療するためには、正しい医学知識と確かな診療技能を身につけることが必要です。しかし診断は必ずしも簡単につくとは限りませんし、治療もすぐに効果が出ない場合もあり、合併症や副作用で病態が複雑になることもまれではありません。そうした場合でも、問題点を整理し、粘り強く解決していく問題対応能力が必要です。良好な患者医師関係を築き、チーム医療を実践し、医療の安全を確保するためには、適切なコミュニケーション能力が求められます。2021 年、医療系総合大学となった本学は、医学部学生にとって、今後ますます進む超高齢社会における医療に必要な多職種連携を学ぶ絶好の環境が整ったといえます。

医学を学び、医師としての経験を積んでいくうちに、現在の医学の限界を痛感する時が来ます。現状に甘んじたりあきらめたりせず、そうしたときこそ科学的探究心を持って、病態解明や新たな治療法開発の研究に力を注いでほしいと思います。これこそが本学開学の理念のひとつである華岡青洲の「活物窮理」そのものであり、本学の初代学長、古武彌四郎先生のおことばに通じる精神です。医学は常に進歩します。これから医師となろうとする皆さんは、常に患者さんに最新の医療を提供するため、生涯にわたって学び続ける姿勢を忘れてはなりません。

このように、日々の努力と研鑽によって身につけた知識や技術も、使い方を誤れば危険な凶器となります。これらをどのように用いるかを決めるのが、医師にとって最も重要な「倫理観」です。医師は、高度な専門性とともな公益性や道徳性が強く求められるプロフェッションです。患者さんのために自分はどうか決断し、どうか行動すべきか、最善の判断を下すための高邁な倫理観が培われるよう、高い志を持って人間性を磨き、自らを高めていただきたいと思います。私たち和歌山県立医科大学医学部の教職員は、そのような皆さんを全力で支援します。



初代学長 古武彌四郎先生之像



医学部の教育目標

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

沿革

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| 昭和 20年 2月 ●和歌山県立医学専門学校設置認可（4年制、美園） | 平成 11年 5月 ●和歌山県立医科大学統合移転完成（紀三井寺） |
| 昭和 22年 6月 ●和歌山県立医科大学予科設置認可（3年制） | 平成 11年 9月 ●生涯研修・地域医療センター開所 |
| 昭和 23年 2月 ●和歌山県立医科大学設置認可（旧医科大学4年制） | 平成 12年 6月 ●救命救急センター設置 |
| 昭和 25年 3月 ●和歌山県立理科大学併設認可（2年制） | 平成 15年 1月 ●ドクターヘリ導入 |
| 昭和 26年 3月 ●和歌山県立医学専門学校及び予科閉校 | 平成 16年 4月 ●保健看護学部開設 |
| 昭和 27年 2月 ●学制改革による和歌山県立医科大学設置認可 | 平成 17年 4月 ●大学院医学研究科修士課程開設・博士課程再編 |
| 昭和 30年 1月 ●和歌山県立医科大学進学課程設置認可 | 平成 18年 4月 ●公立大学法人和歌山県立医科大学に組織改編 |
| 昭和 30年 3月 ●和歌山県立理科大学閉校 | 平成 18年 8月 ●文部科学省の「特色 GP」、「現代 GP」に同時選定 |
| 昭和 30年 4月 ●和歌山県立医科大学開校（新制6年制、40名） | 平成 19年 8月 ●文部科学省の「学生支援 GP」に選定 |
| 昭和 33年 7月 ●学位規程の制定認可（学位審査権） | 平成 19年 10月 ●医学部定員 85名届出受理 |
| 昭和 35年 3月 ●和歌山県立医科大学大学院設置認可 | 平成 20年 4月 ●大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科開設 |
| 昭和 36年 3月 ●旧制和歌山県立医科大学廃止 | 平成 20年 10月 ●医学部定員 95名届出受理 |
| 昭和 38年 4月 ●大学本部及び基礎医学部門移転認可（九番丁） | 平成 21年 11月 ●医学部定員 100名届出受理 |
| 昭和 39年 1月 ●学生定員 60名へ変更承認 | 平成 25年 4月 ●大学院保健看護学研究科博士後期課程開設 |
| 昭和 40年 4月 ●進学課程移転（紀伊） | 令和 03年 4月 ●薬学部開設 |
| 平成 07年 12月 ●看護短期大学併設（3年制） | |



校章

マークの意匠は、和歌山が生んだ医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ（チョウセンアサガオ）」の花に「医」の文字をデザインしたものです。

「まんだらげ」の花の絵は陶芸家富本憲吉氏の作で、もとは昭和38年に開催された医学総会のために描かれたものでした。その後に「医」の文字を付加して、和歌山県立医科大学のマークとして永年親しまれてきた歴史を経て、昭和62年に正式に校章として認定されました。



活物窮理の碑



カリキュラム概要

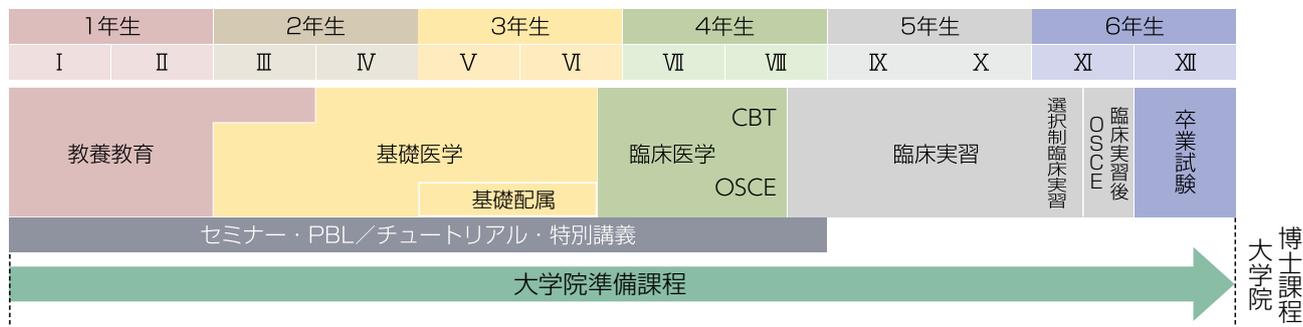
和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度（倫理観）を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、平成27年度には1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

改革の骨子は、1年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。また、2年次、3年次には臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、基礎配属において研究に親しむ期間を設けております。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生はStudentDoctorとして臨床実習を開始します。臨床実習では期間を延長するとともに、より診療参加型実習を行います。臨床実習後OSCEを行い臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習、さらに、臨床技能をシミュレーターを用いて磨き、より実践的な技能を身に付けられるよう臨床技能研修センターも併設しています。

平成25年度からは、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。これにより、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。

これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。



紀三井寺キャンパス正門前



教養教育科目

教養教育科目の授業は、1～2年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。

また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「EarlyExposure早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての課題意識を深めるカリキュラムがあります。

- 数学 ●統計学 ●医学統計学 ●数理科学 ●物理学 ●化学 ●生物学
- 情報処理 ●英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ●保健体育
- ケアマインド教育 ●倫理学 ●法学 ●心理学 ●哲学 ●社会学
- 医療社会科学 ●医療行動科学 ●医療経済学 ●物理学実習 ●化学実習
- 生物学実習 ●心理学実習 ●早期臨床体験実習 ●教養セミナー
- 医学入門 ●医学概論



図書館棟・福利厚生棟・噴水



高度医療人育成センター

和医大で学ぼう！



2年生

樋上 和真

受験生のみなさん、こんにちは。コロナ禍の中、大学受験を迎えるみなさんは様々な制限のなかで努力されていることと思います。このパンフレットがみなさんの志望校選びや勉強に対するモチベーションに繋がれば嬉しいです。

私の夢はフライトドクターになって和歌山の地域医療に貢献することです。高校生の時に和医大のドクターヘリ見学会に参加したことが、この大学を目指したきっかけです。自分が必死になって勉強したことを将来社会のために、患者さんのために活かしたい。そう考えてこの道を選びました。今もその思いは変わっていません。

和医大の一番の魅力は「人」だと思います。どんな質問にも丁寧に向き合って下さる先生方、部活動などで出会った先輩・後輩、同じ時間をともに過ごしてきた同期はもちろん、皆あたたかい人ばかりです。私自身も入学してからこれまでの間、何度も友達に支えられてきました。2年生になると勉強量も非常に多くなりテストも大変ですが、勉強熱心な仲間のお陰でより学びを深めることができている。また和医大では部活動が盛んですが、課外活動に積極的に参加する学生も多いです。私も今年の夏に和歌山で開催される「全国医学生ゼミナール」の実行委員会に所属しており、全国の大学生とともに準備を進めているところです。

2年生の授業について少しお話します。私は今、紀三井寺キャンパスで組織学や骨学、内臓学などの基礎医学を学んでいます。筋肉の走行や神経、組織像など人体の正常な構造や機能についてなど毎日ワクワクしながら講義を受けています。どの講義も印象に残っていますが、骨学の実習で本物の骨標本を目にした時には、ついに自分も医学を学んでいくのだと実感しました。

過去の努力で今の自分があり、夢に向けてコツコツと今を積み上げることで将来に繋がります。毎日一歩でも、前に進んでください。いつか自分の積み上げたものの大きさに驚く時がやってきます。美しい自然にあふれるキャンパスでともに学びませんか。



和医大での学生生活

3年生

西迫 佑菜

こんにちは。この冊子を手にとってくださった皆さんに和医大での学生生活・魅力についてお伝えできればと思います。感染症拡大に伴い、遠隔講義や部活動での制限等もあったため、イレギュラーな2年間でしたが、少しでもご参考になりましたら幸いです。

まずは勉強面についてです。1年生では、主に一般教養を学びます。教養科目といっても、医学部らしく物理学ではMRIや心電図の仕組み、法学では医療訴訟といったことも学びます。また生物や心理学等々で学ぶ内容は、2年生以降の講義における重要な基礎になっていきます。2年生では解剖学や生理学、生化学といった科目を通して、人体の正常な仕組みについて学びます。3カ月間にわたって行う系統解剖学実習では、ご献体を解剖させていただき、細かい筋肉のつき方、神経や動脈の走行、各臓器の大きさや繋がりなどを学びました。教科書通りではない複雑な人体の構造に驚くとともに、深く理解することができました。試験も多く大変だと思いますが、わからないところを教え合える同回生や、質問にも丁寧に答えてくださる先生方ばかりで、医師へと一歩近づいているのだと実感しながら、勉学に励むことができます。また私たちの代では行えませんでした。早期臨床体験実習や地域実習などの大学外での実習も充実しています。

次に、生活面についてです。多くの学生が部活動・サークルに参加しており、私が所属している部活では医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が合同で活動を行っています。先輩後輩との縦の繋がりや、学部を超えての繋がりを持つことができます。また本学にはM.D-Ph.Dコースや学生団体、ボランティア、アルバイト等、様々なことに取り組んでいる学生がたくさんいます。周囲から多くの刺激を受けながら、自身のやりたいことに挑戦できる点も大変魅力的だと思います。

最後になりましたが、皆さんと共に和医大で学生生活を送れることを楽しみにしています。ご清覧ありがとうございました。

基礎医学科目

基礎医学科目の授業は2～3年にかけて行われます。「基礎医学」は医学の原点であり、臨床医学と表裏一体をなすものです。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。

また、各講座に少人数で配属され、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学の研究室で実際の研究に触れる機会があります。

- 生体分子の構造と機能 ●細胞の構造と機能 ●人体の正常構造と機能
- 基礎医学英語 ●地域医療学 ●特別講義 ●基礎医学PBL
- 生体と微生物 ●病因と病態 ●人の死(法医学) ●免疫と生体防御
- 生体と薬物 ●生態と病害動物 ●遺伝子と遺伝子異常 ●医学英語
- 衛生学 ●公衆衛生学 ●解剖学実習 ●生理学実習 ●生化学実習
- 薬理学実習 ●病理学実習 ●微生物学実習 ●衛生学実習
- 公衆衛生学実習 ●基礎配属 ●地域実習



次世代医療研究センター



基礎教育棟



和医大で豊かな学びを

4年生

森下 清登

皆さん、はじめまして。和歌山県立医科大学に興味を持ち、この冊子を開いてくださった皆さんに、和医大での学生生活の魅力についてお伝えできれば幸いです。

和医大では日々の授業に加えて、様々な実習や活動がありますが、ここでは私が特に印象深かった解剖実習と基礎配属についてお話しします。2回生で行われる解剖実習では、教科書をもとに人体の構造について学んだ上で御献体を解剖させていただき、その知識を経験にかえ、より深い理解へとつなげます。この実習は、未来の医療の発展を願った有志の方々が、死後そのご遺体を献体として提供して下さることで初めて実現します。実習中、私たちの先生として御献体の方々に人体の神秘を教わった際、そして慰霊祭において、多くのご遺族の前で学生代表として慰霊の辞を述べた際、私たちに懸けられた期待とその責任を実感し、その遺志に報いることのできる良き医師になろう、と身の引き締まる思いでした。

また3回生で始まる基礎配属では、自身の興味のある研究室を選び、約半年間、基礎研究を経験します。私は病理学教室を選択し、培養細胞や実験動物を用いた様々な実験や、顕微鏡での病変部位の観察を行いました。小さな頃から、臨床の現場で働く医師となることを夢としてきましたが、未だ教科書には載っていないことを試行錯誤しながら発見していく面白さや難しさに触れ、研究活動に興味を湧き、将来の選択肢を広げることができました。また私は基礎配属の期間が終了した後も、さらに研究活動について学びたいと思い、M.D-Ph.D コースに登録しました。このコースは、1回生～4回生の好きなタイミングで自主的に興味のある研究室での研究活動を始められ、大学院の授業も受けることができるため、より将来の幅が広がられます。

和医大ではさまざまな実習、活動を通じてより深い学びが得られ、自身の視野を広げられます。この文章を読んでくださった皆さんが、和医大により興味をもって、少しでも受験勉強のモチベーションにつながることを願っています。

臨床医学科目

臨床医学科目は3年目後半から始まり、病気の診断、治療、予防について学びます。臨床実習は4年目後半～6年目前半にかけて、少人数に分かれて行われます。

医療の現場を体験しながら、良き医師としての態度や知識・技術を身につける場であり、教科書からは得がたいものを自ら学びとります。講義には、臓器別に疾患をとらえた系統的講義と各科の特徴をふまえた講義があり、臨床医学を総合的に理解するための工夫が凝らされています。

- 血液系 ●代謝内分泌系 ●感染・腫瘍免疫系 ●循環器系 ●呼吸器系
- 消化器系 ●神経系 ●腎・泌尿器系 ●特殊感覚系（耳鼻咽喉科）
- 特殊感覚系（眼科） ●皮膚科学 ●運動器系 ●精神医学系 ●生殖系
- 小児科学 ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床検査医学 ●画像医学
- 放射線治療 ●リハビリテーション ●歯科口腔外科学 ●緩和医療
- 病態栄養治療学 ●在宅医療 ●東洋医学 ●医療情報学 ●個人情報
- 地域医療 ●医と法 ●加齢と老化 ●医療安全 ●腫瘍内科学
- 形成外科学 ●リウマチ・膠原病系 ●衛生学・公衆衛生学 ●感染制御
- 病理診断学 ●看護体験実習 ●臨床実習入門 ●臨床実習



Student Doctor 称号授与式



慰霊祭



和医大で『学ぶ』

5年生

岡 亮太

皆さん、こんにちは。和医大に興味を持っていただき、この冊子を手にとってくださりありがとうございます。コロナ禍の中で、これまでとは大きく異なる生活環境で過ごされた方も少なくないと思います。今回は、皆さんに少しでも医学部の学生生活について知っていただければと思います。

現在、私は臨床実習を行っています。4年生までに学んだ知識を生かして、実際の医療現場において、手術見学をしたり、診療科によっては、手技を体験させていただいたりしています。研修医の先輩が一生懸命勤務されている姿に刺激を受け、自分も医師になる自覚が一層強くなり、日々意欲的に取り組んでいます。

例えば、救急科を実習した際には、救急車が到着した瞬間から、研修医の先生方が、一斉に初期診療を始められる様子を目の当たりにしました。自分もその一員として、心電図の計測の準備をし、先生方の補佐をしました。また、和医大の大きな特徴の一つであるドクターヘリに体験搭乗させていただける機会に恵まれました。

次に、国際交流について紹介します。私は、3年生の時に、カナダのトロント大学への海外基礎配属への派遣が決定していたのですが、あいにくコロナの影響を受け、直前で中止が決定し、非常に残念な思いをしました。ただその後、先生方のご尽力により、韓国の大学の医学部の学生と、オンラインを通して、発表とディスカッションを行う交流の場を作っていただきました。コロナ禍であっても、遠隔で国際交流を体験できました。

最後に、受験生のみなさん、これからは、健康にも留意しつつ、自身のメンタル状態への配慮にも努めてください。また、勉強面では、特に“基本”を大事にしてほしいです。受験勉強はとにかくつらく苦しいものですが、医学部生になっても「学ぶこと」は膨大です。医学は日々進化しており、その内容をひとつ学習し理解することで更に興味が深まり、新しいことを学ぶことで更なる達成感が得られます。夢の実現に向かって、最後まで走り続けてください。みなさんとお会いできる日を楽しみにしています。



実習風景



学生自主カリキュラムの発表



ドクターヘリ



受験生の皆様へ

6年生

内川 侑紀



実習風景



講義風景



西医体激励会

この度は和歌山県立医科大学に興味をもって下さり、ありがとうございます。この場をお借りして、大学生活などについてお話したいと思います。少しでもお役に立てれば幸いです。

私は3年生の時に、基礎医学研究の短期留学で約2か月間カナダに留学させて頂きました。それまでほとんど日本を出たことがなかったので、留学を決めるのには勇気がいりましたが、とても勉強になりましたし、外国で生活できたということは自信につながりました。臨床留学（医療の現場での実習）は多くの大学で可能なようですが、低学年から基礎研究の留学が出来る大学は珍しいようで、和歌山県立医科大学の特徴の一つだと思います。

今年には6年生になり、臨床実習を行っています。実習では熱心に教えて下さる先生がたくさんいらっしゃり、とても勉強になります。患者さん方は私の拙い診察に付き合っ下さり、頑張ると声をかけて下さったりして、頑張ると良い医師になろうと改めて思えます。実際に実習で回ってみると、座学で学んだ知識が生き生きとした経験になり、また将来自分が何科に進んでどのような医師になりたいのかを、しっかりと考えることが出来るようになります。コロナ禍で実習期間が短縮したり、出来ることが限られてしまったりもしましたが、そんな中でも、私たちがなるべく多くの時間実習出来るように尽力して下さった先生方にとっても感謝しています。

日本全国色々な大学があり、どこを受験しようかと迷うこともあると思います。同じ医学部でも、実習期間などのカリキュラムや、USMLE（アメリカの医師国家試験）を受験可能かどうかなど、意外にも多くの違いがあるようです。パンフレット等で比較してみたり、可能なら在学生から話を聞いたりしてみるといいと思います。

最後に、大学受験は大変なこともたくさんあるかと思いますが、大学受験で乗り越えたことや、自分と向き合った経験は一生の宝になると思います。ご健闘をお祈り申し上げます。



受験生の皆さんへ

研修医1年目

春本 克太

初めまして。研修医1年目の春本克太と申します。まずは数ある医学部の中でこの和医大のパンフレットを手にとっていただきありがとうございます。受験生の皆さんは受験勉強に追われてばかりで医学部に入ってからの生活については想像することが難しいと思います。ここでは私が医学部に入ってから6年間の学生生活で感じたことや和医大の魅力についてお話ししたいと思います。そしてこれが受験生の皆さんの参考になれば幸いです。

まず、和医大は公立の医科大学であり、学生の人数は他大学に比べると多くありません。だからこそ、同級生や教員との距離が近くなり、講義や実習を通して同級生との絆が生まれやすく、教員を通して密度の濃い学習ができるのが1つの強みです。

次に、学生生活は自由で、自分のやりたいことに全力で挑戦できる環境が整備されているのも大きな特徴です。例を挙げますと、学習を進めているうちに研究意欲が湧いて研究室に通う学生、毎年夏に行われる医学部の大会（西医体）へ向けて部活動に没頭する学生、同じく夏の医療系学生主催の学習イベント（医ゼミ）に向けて医学にとどまらない幅広い学習に没頭する学生、災害現場に直接赴くなどしてボランティア活動に没頭する学生、海が近く釣りやマリンスポーツ、BBQなどの趣味に没頭する学生などなど…。いずれにしても今までに経験しなかったことをここ和医大で数多く経験することができ、そこで得られた思い出・体験はかけがえのない一生の宝になると思います。

受験生の皆さんは医学部受験という難関が控えており、終わりの見えないトンネルの中を苦しみながら日々歩みを進めておられることと思います。しかし、このトンネルを抜けた先には楽しく充実した学生生活が待っています。どうか、最後の最後まで諦めずにこの難関を乗り越えてください。皆さんと笑顔で和歌山でお会いできる日を楽しみにしています。頑張ってください！



受験生のみなさんへ

研修医2年目

井上 育美

受験生の皆さん、初めまして。この度は和歌山県立医科大学の案内に目を向けてくださり、ありがとうございます。和医大について感じていることを少しお話しさせていただきたいと思います。

和歌山は海も山もあって自然豊かで、四季を満喫できる場所です。その地に位置する本学は医科大学ならではの規模で、同期はとても仲がよく、先輩や後輩とも顔馴染みが多く親しみやすい環境にあります。

また部活動が非常に盛んで種類も多く、兼部している人も多いです。ボランティア活動やアルバイトに取り組んでいる人もいて、それぞれに合った形で充実した学生生活を送っています。

学生生活の中で私が特に印象に残っていることは3年生時の海外留学です。米国の基礎研究に携わり、現地の医学生と交流することができました。本学では3年生時と6年生時に海外留学する機会を得ることができます。私の頃とは研修先や研修時期が異なり、さらにコロナ禍で現在は一時中止となっていますが、再開されれば是非その機会を活用していただきたいと思います。

また本学の附属病院の研修プログラムは自由度の高いことで有名で、毎年非常に人気があります。最先端の医療を学び、実践できる大学病院、一般的で頻度の高い疾患を満遍なく診られる市中病院のいずれでも研修することができます。卒業後の研修生活を見据えても、本学で学び、人との繋がりを広く持ち、6年間で培った人脈を生かし安心して研修を始めることができます。

なかなか先の見通せないコロナ禍で将来のことを考え、想像するのは容易ではないと思いますが、皆さんの志望校選びの一助になれば幸いです。和歌山で一緒に働ける日を心待ちにしています。

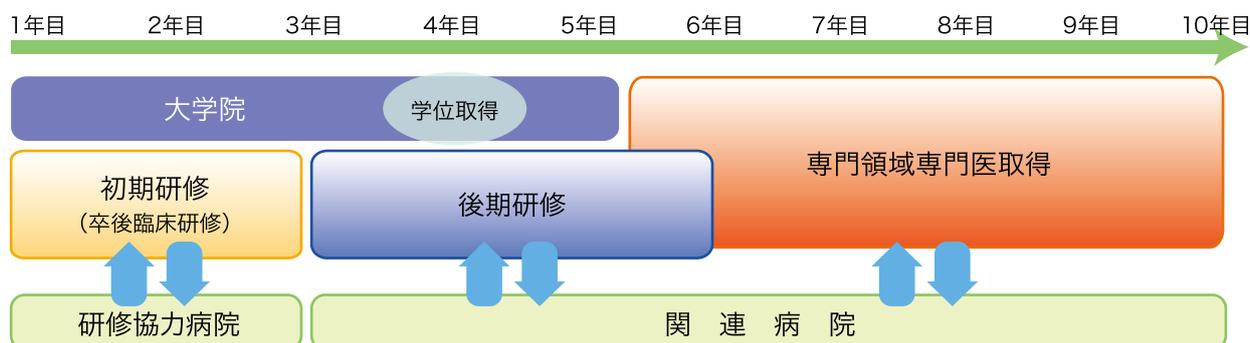


卒後臨床研修センター オリエンテーション風景



感染管理研修風景

和歌山県立医科大学附属病院研修イメージ（一般入学枠の場合）※卒業年数等はイメージです





大学では現在23の体育会と18の文化会が活動をしています。

体育会

- 卓球部
- バレーボール部
- ヨット部
- 剣道部
- 柔道部
- 水泳部
- バドミントン部
- 硬式テニス部
- 軟式テニス部
- フットサル部
- 準硬式野球部
- スキー・山岳部
- 陸上競技部
- バスケットボール部
- サッカー部
- 女子バレーボール部
- ゴルフ部
- 空手道部
- ラグビー部
- 合気道部
- ボート部
- ダンスサークル
- 軟式野球部

文化会

- 軽音楽部
- 音楽研究部
- Wakayama Will部
- 華道部
- 米国医学研究会× USMLE
- わくわく子育てボランティア
- ミュージックボランティアクラブ
- 美術部
- E S S 部
- アカペラ部
- クイズ研究会
- 裏千家茶道部
- 保健看護茶道部
- 演劇部
- 釣魚部
- 文芸部
- 手話サークル
- 手芸サークル



合気道部



スキー・山岳部



茶道部



ボート部



ラグビー部



音楽研究部



水泳部



空手道部



硬式テニス部



男子バレーボール部



ESS部



剣道部



年間スケジュール

4	上旬	春期休業／入学式／新入生ガイダンス	 入学式
	中旬	新入生研修	
	下旬	学生健康診断・Student Doctor 称号授与式	
5	上旬		 新入生研修
	中旬		
	下旬		
6	上旬		
	中旬		
	下旬		
7	上旬	西日本医科学生総合体育大会激励会	
	中旬		
	下旬	夏期休業(7月下旬～8月下旬) OSCE(6年)	
8	上旬	西日本医科学生総合体育大会(8月上旬～中旬)	
	中旬	オープンキャンパス	
	下旬		
9	上旬		
	中旬		
	下旬		
10	上旬		 篤志解剖体慰霊祭
	中旬	篤志解剖体慰霊祭	
	下旬	紀葉祭(大学祭)	
11	上旬		
	中旬		
	下旬		
12	上旬		 紀葉祭
	中旬	学校推薦型選抜願書受付	
	下旬	冬期休業(12月下旬～1月上旬)	
1	上旬	CBT(4年)	大学入学共通テスト 一般選抜(前期日程)願書受付 学校推薦型選抜及び合格発表
	中旬	OSCE(4年)	
	下旬		
2	上旬		一般選抜(前期日程)試験 一般選抜(前期日程)合格発表
	中旬	医師国家試験	
	下旬	開学記念日	
3	上旬		 卒業式
	中旬	卒業式・学年末休業(3月中旬～下旬)	
	下旬		



入学金・授業料(令和4年度)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年 額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。

世帯所得金額に基づく区分	給付奨学金支給月額		減免額(年額)	
	自 宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
	9,800円 or 19,500円 or 29,200円	22,300円 or 44,500円 or 66,700円	94,000円 or 188,000円 or 282,000円	178,600円 or 357,200円 or 535,800円

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

※日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。

※本学独自の奨学金として、医学部6年生に対して、「修学奨学金」「修学奨励金」として月額5万又は10万円を1年間無利子で貸与する制度等があります。

※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

(令和4年度)

種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金(無利息)	自 宅通学者	2万or3万or4.5万円
	自宅外通学者	2万or3万or4万or5.1万円
第二種奨学金(利息付)		2万から1万単位で上限12万円までの金額

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」への加入を義務付けています。

(令和4年度)

種 類	保険料	保険期間
学研災	4,800円	6年間
学研賠	3,000円	6年間
計	7,800円	

入学手続きの際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用してください。なお、民間アパート等のあっ旋や事業所の紹介については大学生協にお問い合わせください。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。
なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり学業に影響がないように心がけましょう。



国際交流

本学では、教育及び研究の面で活発な国際交流が行われています。昭和61年度に本学と中国の山東大学と学術交流協定を締結し、平成17年度に医学部学生4名と保健看護学部5名の公式訪問が初めて実現しました。

また、平成18年度からは、国際交流センターを設置し、米国ハーバード大学への学生派遣や中国、タイの大学との交流など、国際交流を推進しています。さらに、外国人研究者や外国人留学生を毎年積極的に受け入れるなど、本学の国際交流はますます活発に展開されています。コロナ禍においても、本学の国際交流はますます活発に展開されています。

■学術交流協定締結先

国名	協定先			
米国	ハワイ大学 医学部			
チェコ共和国	プラハ大学 第2医学部			
ポルトガル共和国	リスボン大学 医学部			
中華人民共和国	山東大学	香港中文大学	上海交通大学 医学院	
大韓民国	延世大学 医学部	高麗大学 医学部	亜洲大学	
タイ王国	マヒドン大学 看護学部	マヒドン大学 公衆衛生学部	コンケン大学 医学部	プラハ大学
ミャンマー連邦共和国	保健省 医科学局	ヤンゴン第一医科大学	ヤンゴン看護大学	ヤンゴン総合病院
ベトナム社会主義共和国	保健省			
インドネシア共和国	ウダヤナ大学	アイルランガ大学		

■令和元年度 派遣実績 (以下の大学の他、協定校にも留学することが可能です)

対象学年	派遣期間	派遣先	派遣人数
3年	基礎配属期間	カナダ・トロント大学	5名
		カナダ・アルバータ大学	1名
		シンガポール・ナンヤン理工大学	2名
6年	臨床実習	米国・バーモント大学	2名
		チェコ・チャールズ大学	2名
		タイ・コンケン大学	2名
		米国・ハワイ大学	1名

■令和元年度 受入実績 (以下の大学の学生と交流の機会を設けました。)

プラハ大学	香港中文大学	コンケン大学	ウダヤナ大学
バーモント大学	マヒドン大学	ストラスブール大学	山東大学

入試結果

年度	区分	募集人数 A	志願者数 B	受験者数 C	入学者数 D	うち出身校		志願倍率 B/A	競争倍率 C/A
						県内	県外		
令和4年度	推薦	21名程度	65	24	19	17	2	3.1	1.1
	前期	79名程度	295	232	81	13	68	3.7	2.9
	合計	100名	360	256	100	30	70	3.6	2.6
	(うち女子)		(122)	(78)	(31)	(13)	(18)		
令和3年度	推薦	21名程度	57	24	20	18	2	2.7	1.1
	前期	79名程度	243	225	80	12	68	3.1	2.8
	合計	100名	300	249	100	30	70	3.0	2.5
	(うち女子)		(121)	(95)	(41)	(17)	(24)		
令和2年度	推薦	21名程度	54	27	23	20	3	2.6	1.3
	前期	79名程度	171	151	77	14	63	2.2	1.9
	合計	100名	225	178	100	34	66	2.3	1.8
	(うち女子)		(67)	(47)	(23)	(9)	(14)		

※医学部の入学定員は平成22年度入学生から100名に増員されました。(定員内訳：一般枠 70名、県民医療枠 20名、地域医療枠 10名)



学生募集要項の請求方法

医学部の学生募集要項及び出願書類については、令和4年11月中旬に発表の予定です。
次のいずれかの方法により請求してください。

(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。
詳しくは、本学ホームページ(<http://www.wakayama-med.ac.jp/>)をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合

① テレメールのサイトにアクセスしてください。



インターネット

<https://telemail.jp>

バーコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。



② 資料を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	料金	資料請求番号	資料名	料金	資料請求番号
医学部案内	180円	565870	医学部募集要項・医学部案内	250円※	545950
医学部募集要項	250円※	585850			

③ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。

- ※ 資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます(土曜・日曜・祝日の配達はありません)。お届け先地域や郵便事情によってはお届けに1週間ほど要する場合があります。
- ※ 17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。ただし、発送開始日前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
- ※ 料金の後ろに※印のある資料については、追加料金200円で「1～2日後に届く発送サービス」をご利用になれます(予約受付期間中を除く)。本サービスをご利用の場合は、発送日のおおむね1～2日後にお届けできます(土曜・日曜・祝日も配達あり)。ただし、お届け先地域や郵便事情によっては3日以上かかる場合があります。
- ※ 随時発送の資料が1週間以上(予約受付の資料は発送開始日から1週間以上)経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
- ※ 資料の料金は、お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
- ※ なお、支払時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払い(LINEPay、PayPay、auPAY)は118円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。

(3) 本学へ直接請求する方法

郵送により請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し、390円分の切手(速達は780円)を貼付した返信用封筒(角型2号、240mm×332mm)を同封の上、封筒の表に「医学部募集要項請求」と朱書きして、下記へ申し込んでください。

(1)・(2)の請求方法についてのお問合せ先

■テレメールカスタマーセンター

Tel.050-8601-0102 (9:30～18:00)

(3)の請求方法についてのお問合せ先

〒641-8509

和歌山市紀三井寺811-1

和歌山県立医科大学 学生課 入試学務班





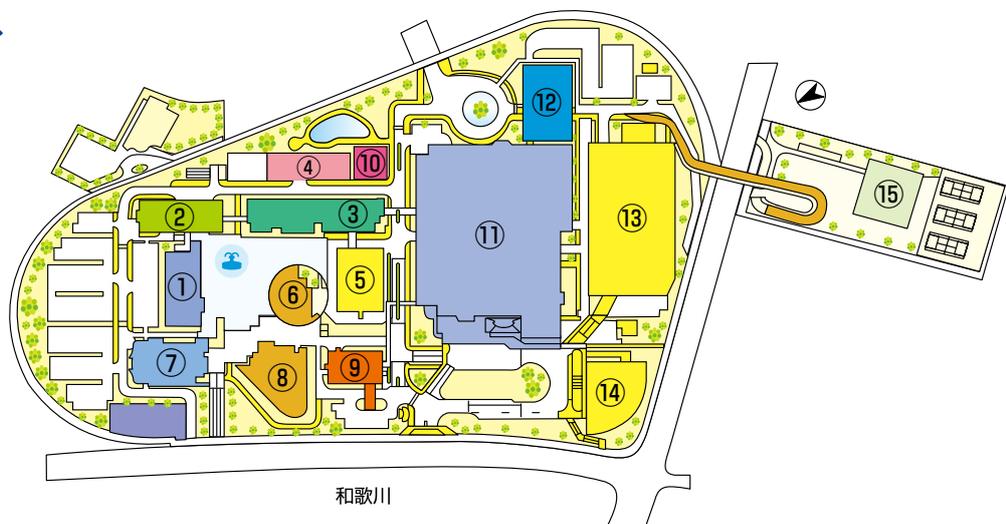
Campus Map (紀三井寺キャンパス)

本学の紀三井寺キャンパスは、「海・森・命」をデザインキーワードに北側の学部は和歌浦に浮かぶ「玉津島山」に見立てた9棟の建物群からなり、南側の病院棟では、波のイメージの曲線や森のイメージの緑色が使われています。東側には水路状の池と植栽を施し、それを回る遊歩道を設け患者や一般の人々に憩いの場を提供しています。図書館の壁には「生命の潮流」が描かれており、研究棟の玄関には「紀国山海宝船」、3階から10階には海から森そして天へと巡回するアートワークが施されています。

また、平成25年度末には附属病院(東棟)が完成し、県民医療枠や地域医療枠の学生が卒業後、医師として専門医や学位を取得できるよう、キャリア形成の支援をより充実して行えるようになりました。

さらに、令和2年9月には、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が共同で研究を行うことなどを目的とした次世代医療研究センターが完成しました。

○紀三井寺キャンパス



- | | | | |
|--------------|--------------|-------------|--------------|
| ①基礎教育棟 | ②実習棟 | ③研究棟 | ④次世代医療研究センター |
| ⑤R I ・動物実験施設 | ⑥福利厚生棟 | ⑦講堂 | ⑧図書館 |
| ⑨管理棟 | ⑩高度医療人育成センター | ⑪附属病院 (中央棟) | ⑫附属病院 (東棟) |
| ⑬立体駐車場 | ⑭エネルギーセンター | ⑮体育館 | |

附属病院 (東棟)

地域医療支援の拠点施設としての機能を活かし、県民医療枠・地域医療枠の学生へのキャリア形成の支援をより充実させるとともに、地域の医療機関とのネットワーク構築により遠隔医療、遠隔診断に取り組んでいくことを目的として、紀三井寺キャンパス内の附属病院東側に建築し、平成26年4月から使用を開始しています。



附属病院 (東棟) 外観



セミナー室



Campus Map (三葛キャンパス)

JRきのくに線紀三井寺駅から北へ約1kmの位置に本学の三葛キャンパスがあります。周りを閑静な住宅街に囲まれたこのキャンパスでは、医学部1年生がリベラルアーツ(教養教育)を中心に学んでいます。

○三葛キャンパス



- ①管理・校舎棟
- ②研究棟
- ③図書館棟
- ④体育館棟
- ⑤医学部三葛教育棟
- ⑥グラウンド



三葛キャンパス

医学部三葛教育棟

医学部三葛教育棟は、本学の医学部入学定員の増員に伴い、教養教育の新たな拠点として保健看護学部のある三葛キャンパスに併設されました。

この建物は、将来のチーム医療を担う中核的人材育成のための教養教育の核となる建物であり、和歌山県の補助を受けて三葛キャンパス内に建築し、平成21年4月より使用を開始しています。



医学部三葛教育棟外観



学生ホール

AccessMap



令和5年

和歌山県立医科大学

医学部案内

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス・附属病院

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1
Tel:073-447-2300(代表) Tel:073-441-0702(学生課)

和歌山県立医科大学 三葛キャンパス

〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス

〒640-8156 和歌山市七番丁25番1



ホームページ

<https://www.wakayama-med.ac.jp/>